



卷頭言

市瀬, 信夫

(Citation)

海事資料館年報, 3

(Issue Date)

1975

(Resource Type)

other

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/81005841>



巻 頭 言

海事資料館長 市 瀬 信 夫

四面海にかこまれた海運国としての日本に、神戸商船大学は創立の当初から海事博物館設立の熱意に燃えて、昭和27年に先づ模型館を設立して学内に散在する資料を収集し、ついで昭和33年これを海事参考館と命名して館内の整備展示の充実をはかったのである。

昭和35年の夏に第1回の海事調査団を組織し、深江丸を利用して学外からの資料蒐集が行はれて以来毎年欠かさずこの行事が続行している。

昭和42年創立50周年記念の一環として鉄骨鉄筋コンクリートの立派な展示館が竣工し、名も海事資料館と改められて今日に至っている。こうして歴代資料館長をはじめ本学教職員のたゆまざる努力により心ある方々のご理解と協力を得て、現在海事資料館には約2,400点の貴重な資料が收藏されており、入館者も最近は年間3,000人以上の多きにのぼっている。

これ等貴重な資料の一つ一つを見つめているとじーんと胸にせまってくるものがあり、今後ともより一層の整備充実をはかり、大切に保管して後世に伝える義務があることを痛感する次第である。